

事業者向け放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスひまわり 袋井南中前校

令和5年11月24日実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		職員含めて30人以上になると狭く感じる。神長校の活用方法の検討が必要である。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		指定基準を満たしていても1対1の対応が多くなると人手不足になる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			南中前校の室内外に段差は無い。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			室内のレイアウトや利用児の動きの流れ等は話し合っ改善している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートを10月に行い、口頭や連絡ノートにて保護者とは連絡を取り、その都度改善をおこなっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和5年12月公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	未実施。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修(管理者児発管研修、常勤研修など)や校舎内研修(スペシャルラーニング)等を実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年に一度のモニタリングを行い、その内容は全職員で共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		アセスメント表を記入してもらっている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			午前中に職員で支援の目的を含めて立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			公園での遊びや運動に固定せず季節物の作成や季節の塗り絵、調理体験、買い物体験等を実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			ミーティングにて話し合いをし、支援の目的に合わせた楽しめるプログラムを用意している。また長期休暇のときは午前・午後でプログラムを分けている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動中も個別の課題に沿った視点で支援をしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			昼礼を行いパート職員を含めた全職員で確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		常勤職員の出勤時間にばらつきがあるため共有しにくい環境下だが、LINEアプリや電子メール、ホワイトボードへの記入、午前中や昼礼時に漏れなく対応している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録を記入し、各職員と情報共有し改善できるようにしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			漏れなく実施している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			個々の状況にあわせた発達支援を行い、健全な育成を行えるように支援している。また、保護者の悩みや相談を受け入れ保護者支援も随時行っている。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者が出席し、情報の共有を図っている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校と連携し、迎え時に学校担当職員より必要に応じて情報をいただいている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在医療的ケアが必要な利用児はおらず、医療的ケアが必要な場合には袋井駅前校を案内している。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	保護者を通して児童発達の資料を頂いている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	卒業した利用児がいないため未実施だが、今後卒業した場合は提供を予定している。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	今後連携を深めていきたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	積極的な交流はないが、公園・イベント・見学行事等で関わりをもつ機会がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			研修には管理者だけではなく、職員が参加する機会も設けている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者アンケート、モニタリング、相談支援等で利用児の成長、及び課題の共有をしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	今年度は未実施だが、保護者からの要望は多く、EducoやJobの案内等を含めて早急に実施したい。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に重要事項説明書の説明必ず行い、変更時は速やかに保護者に伝えている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			気軽に相談できるように連絡ノートを活用したり、電話による相談や送り時の自宅での相談、迎え時の相談を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会は実施していないため、EducoやJobの案内を含めて実施していく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			連絡ノート、職員間のLINEアプリや電子メールでの連絡、ホワイトボードへの掲示などを活用して情報の共有を図り、迅速に対応している。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ひまわり通信を毎月発行し、長期休暇前には期間中の活動予定を報告している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報取り扱いに関する規定を定め、契約書に署名を頂き、同意を得ている。
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか			○	連絡ノートの活用し、送迎時に情報を共有している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在未実施。屋台の引き回し時に地域の会所前で声を掛けて頂きバルーンアートを頂くことがあった。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	作成済みだが、職員・保護者・利用児への周知はできていない部分がある。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			県の防災訓練に合わせて実施予定。

非常事等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	毎月校舎内において「スペシャルラーニング」を使って、パート職員を含めた全職員で研修を実施している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	必要とする利用児には個別に承諾を得て、個別支援計画書に記載するようになっている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	医師の指示はないが保護者の指示で対応し、食物アレルギーがある場合はアセスメントシートに記入している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	口頭での報告だけでなく、ヒヤリハットへの記入の重要性を全職員に周知し、細やかに記入するようにする。